

排出ガス測定項目 測定場所:赤磐市環境センター

項目	基準値	煙道	平成29年度	
			平成29年5月25日	
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1ng-TEQ/m ³ N以下	1号炉	0.047	
		2号炉	0.027	

項目	基準値	煙道	平成29年度			
			平成29年5月25日	平成29年8月3日	平成29年11月21日	平成30年2月20日
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/m ³ N以下	1号炉	0.001	0.002未満	0.001未満	0.001未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		2.3	0.7未満	0.5未満	5.0
塩化水素濃度	700mg/m ³ N以下		37	15	3.5	37
窒素酸化物濃度	250ppm以下		35	56	42	64
一酸化炭素濃度	100ppm以下		3未満	3未満	1	2未満
水銀濃度	50μg/m ³					2未満
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/m ³ N以下	2号炉	0.001	0.002未満	0.001未満	0.001未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		2.6	1.7	2.5	3.8
塩化水素濃度	700mg/m ³ N以下		44	81	39	44
窒素酸化物濃度	250ppm以下		58	56	69	68
一酸化炭素濃度	100ppm以下		3未満	3未満	2未満	2未満
水銀濃度	50μg/m ³					2未満

表中の未満は、測定定量下限値以下を示しています。

悪臭測定項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

項 目	基準値(敷地境界上)	平成29年度	
		No.1調査日	No.2調査日
		平成29年7月21日	平成29年7月21日
1 アンモニア	2ppm以下	<0.1	<0.1
2 メチルメルカプタン	0.004ppm以下	<0.0002	<0.0002
3 硫化水素	0.06ppm以下	<0.0007	<0.0007
4 硫化メチル	0.05ppm以下	<0.0001	<0.0001
5 二硫化メチル	0.03ppm以下	<0.0009	<0.0009
6 トリメチルアミン	0.02ppm以下	<0.0005	<0.0005
7 アセトアルデヒド	0.1ppm以下	0.005	<0.005
8 プロピオンアルデヒド	0.1ppm以下	<0.005	<0.005
9 ノルマルブチルアルデヒド	0.03ppm以下	<0.0009	<0.0009
10 イソブチルアルデヒド	0.07ppm以下	<0.002	<0.002
11 ノルマルバレルアルデヒド	0.02ppm以下	<0.0009	<0.0009
12 イソバレルアルデヒド	0.006ppm以下	<0.0003	<0.0003
13 イソブタノール	4ppm以下	<0.09	<0.09
14 酢酸エチル	7ppm以下	<0.3	<0.3
15 メチルイソブチルケトン	3ppm以下	<0.1	<0.1
16 トルエン	30ppm以下	<1	<1
17 スチレン	0.8ppm以下	<0.04	<0.04
18 キシレン	2ppm以下	<0.1	<0.1
19 プロピオン酸	0.07ppm以下	<0.003	<0.003
20 ノルマル酪酸	0.002ppm以下	<0.0001	<0.0001
21 ノルマル吉草酸	0.002ppm以下	<0.00009	<0.00009
22 イソ吉草酸	0.004ppm以下	<0.0001	<0.0001

表中の<は、測定定量下限値以下を示しています。

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

騒音測定：施設稼働による影響

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)			
			朝:5時～7時	昼間:7時～20時	夕:20時～22時	夜間:22時～翌5時
東側敷地境界 No.1地点	年4回	6月	46	49	67	64
		9月	46	49	54	46
		12月	46	47	43	41
		3月	45	50	44	39
北西側敷地境界 No.2地点	年4回	6月	49	51	45	44
		9月	53	54	49	47
		12月	50	55	48	47
		3月	50	56	47	45
基準値(敷地境界上)			50	60	50	45

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)	
			昼間:6時～22時	夜間:22時～翌6時
東側民地 No.3地点	年4回	6月	58	66
		9月	47	55
		12月	45	41
		3月	46	38
参考値※1			55	45
岡山 吉井線① No.4地点	年4回	6月	57	52
		9月	62	58
		12月	60	56
		3月	58	52
参考値※1			70	65

※1:参考値は、環境基準等の指定がないため、周辺環境の状況を踏まえて設定しています。

調査日:H29年6月6日～7日 9月12日～13日 12月12日～13日 H30年3月6日～7日

No.1、No.2、No.3の騒音レベルが環境基準や参考値を上回りましたが、これらの主要な騒音源はカエル、虫、鳥、交通車両に起因する騒音であり、赤磐市環境センター施設稼働に起因する騒音が要因ではありませんでした。

騒音及び振動測定 : 測定場所は、測定位置図のとおりです。

振動測定:施設稼働による影響

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	基準値(敷地境界上)
東側敷地境界No.1地点	年1回	昼間:7時~20時	26	60
		夜間:20時~翌7時	<25	55
北西側敷地境界No.2地点	年1回	昼間:7時~20時	34	60
		夜間:20時~翌7時	26	55
測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	規制値等※1
東側民地No.3地点	年1回	昼間:7時~20時	26	55
		夜間:20時~翌7時	<25	55
岡山吉井線①No.4地点	年1回	昼間:7時~20時	40	55
		夜間:20時~翌7時	30	55

調査結果は、各時間帯の算術平均値を示しています。

表中の<は、測定定量下限値以下を示しています。

※1:No.3、No.4の周辺地点は、振動を感じる感じないの境界とされる振動レベルと比較しています。

調査日:平成29年12月12日~13日

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

騒音測定：収集運搬車両による影響

測定地点	調査回数	時間帯	騒音レベル(dB)	
			調査結果	基準値
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間：6時～22時	68	70
		夜間：22時～翌6時	63	65
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間：6時～22時	63	65
		夜間：22時～翌6時	56	60
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間：6時～22時	72	70
		夜間：22時～翌6時	67	65

調査日：平成29年12月12日～13日

No.6の騒音レベルが基準値(参考値)を上回りましたが、他の交通車両の影響を大きく受けたことに起因します。

振動測定：収集運搬車両による影響

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	基準値
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間：7時～20時	40	65
		夜間：20時～翌7時	30	60
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間：7時～20時	<25	70
		夜間：20時～翌7時	<25	65
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間：7時～20時	40	65
		夜間：20時～翌7時	31	60

表中の<は、測定定量下限値以下を示しています。

調査日：平成29年12月13日～14日

環境調査項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

大気質測定

調査項目		測定結果						
		No.1 津崎地区	No.2 下市地区	No.3 町苅田地区	No.4 桜が丘地区	No.5 西中地区	No.6 東窪田地区	No.7 尾谷地区
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	測定値	0.024	0.011	0.010	0.011	0.0062	0.012	0.014
	基準値	年平均値0.6pg-TEQ/m ³ 以下						
硫黄酸化物(ppm)	1時間最高値	0.002	0.001	0.006	0.001	0.001	0.001	0.004
	基準値	0.1ppm以下						
	日平均最高値	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.002
	基準値	0.04ppm以下						
塩化水素(ppm)	期間平均値	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	参考値	0.02ppm以下						
窒素酸化物(ppm)	日平均最高値	0.006	0.008	0.007	0.008	0.006	0.008	0.005
	基準値	0.04ppm以下						
浮遊粒子状物 質(mg/m ³)	1時間最高値	0.090	0.084	0.072	0.073	0.077	0.089	0.073
	基準値	0.20mg/m ³ 以下						
	日平均最高値	0.060	0.061	0.060	0.060	0.061	0.066	0.058
	基準値	0.10mg/m ³ 以下						

調査日：H29年11月8日～14日

表中のくは、測定定量下限値以下を示しています。

【測定場所】

津崎(津崎コミュニティハウス)、下市(高陽中学校)、町苅田(石相小学校)、桜が丘(桜が丘運動公園)、西中(西山公民館)、東窪田(岡山県農林水産総合センター)、尾谷(尾谷コミュニティハウス)

環境調査項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

ダイオキシン類濃度調査

媒体	調査回数	平成29年度			
		調査地点	試料採取日	調査結果	基準値
水質 (pg-TEQ/L)	年1回	B-3 防災調整池放流口	平成29年11月24日	0.0040	1
水質 (pg-TEQ/L)	年1回	B-1 井戸	平成30年1月19日	0.17	1
		B-2 井戸	平成30年1月19日	0.10	
土壌 (pg-TEQ/g)	年1回	C-1 田	平成30年1月19日	36	1,000
		C-2 田	平成30年1月19日	29	
		C-3 田	平成30年1月19日	18	

田の土壌測定値に若干差がありますが、この要因は自然界に存在するものに加え、稲作での除草剤の使用、農業用水としての田への引き込み(水中にもダイオキシンが溶け込みやすい)など長年にわたり蓄積されたことに起因するものと考えられます。